

















SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:

NPO法人チャイルドサポートきくち
児童発達支援事業所 COCHIプラス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																																																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																																																	
																																																																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		・NPO法人の理念を明文化し、管理者は、事業所のあるべき姿を従業員に説明し共有している。 ・従業員は、自らの使命を理解し、自発的に取組みが実施されている。												8	9																17																																					
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守およびマナーや安全義務の規程に関する統一マニュアルがあり、法令遵守の重要性を定期的に、全従業員に向けて発信している。 ・コンプライアンス研修を実施し、従業員への啓発を行っている。																												16																																						
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・障がい児通所施設として公平で公正な契約に努め、全従業員向け、その重要性を発信している。 ・判別域の境界付近で判断が難しいケースなどは、相談員や行政機関などの外部機関に協力を仰ぎ指導や助言を受けている。																										10			16																																					
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・責任の所在を明らかにし、SDGs担当者任命している。 ・自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響(可能性)を把握している。																													16																																					
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などの侵害を排除し、および療育に関わる知的財産等に関する勉強会を実施している。																																																																		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・朝礼時などに随時注意喚起し、情報漏洩防止を徹底している。 ・情報漏洩事故に対する具体的な対応策をマニュアルで示し、個人情報の記載されたファイルは鍵付きの書庫で管理し持ち出しを禁止している。 ・記名された文書や関連書類なども必ずシュレッダーで処分するよう規定している。																													16																																					
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・定期的な面談の実施、またSNSを通じた密な連携を図ることで、利用児の保護者さまの声(クレームやご要望等)を大事にし、双方向コミュニケーションに努めている。 ・相談員や行政機関、医療機関や学校など、関連したステークホルダーとは担当者会議やモニタリングをはじめ、病院同行などを行う事で常時連携した取組みを進めている。																											16		17																																					
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・メンター制度を充実させ、各ハラスメント対策および予防研修が行われている。 ・療育プログラムとして子どもたちにも、権利や保障が守られ、多様性が自他ともに認められる自由で自律した教育が提供されている。						5											8						10			12	13	14	15	16	17																																			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・年に2回の避難訓練等を実施し、消防署等の指導を取り入れている。 ・消防署からの講師や看護師による救急法訓練を定期的実施し、人命救助に尽力している。 ・地震、火災、災害などに備えBCPを策定し人的資源や物的資源(モノ・金・情報)・体制等多面的な対策を講じている。																											9		11			13.1			16	17																														
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・外部研修の支援やキャリアパスに沿った人材育成に注力し、次世代の後継・継続者の育成に努めている																														8	9										17																									
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●																																	1	2							5														8									12	13	14	15	16

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: NPO法人チャイルドサポートきくち
児童発達支援事業所 COCHIプラス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・メンター制度を導入し心の健康を確保するために、職場での心理的安全性(恐怖や不安を感じることなく、安心して発言・行動できる職場環境)の実現に向けた管理職教育や啓発活動を実施している。 ・万が一のケースを想定し、外傷時などの受診先として近医との連携ができています。			3						8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・パート社員)の公正な待遇を行っている。					5.5				8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組み、有給休暇などの取得奨励を実施し、家事や育児、ボランティア活動への積極的参画などの環境を整えている。			3		5.5				8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修体制の整備や経費の支給により、外部研修(熊本県北部発達障害支援センターわっふる主催の各種研修、その他当該事業に関連した学会・研修会等)の受講や資格取得(児童発達支援管理責任者・強度行動障害者(児)支援者、行動援護事業者、障がい福祉サービス等従事者、医療的ケア児等支援者など)を奨励している。				4	5.5				8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・毎日の朝礼時に交通事故等への注意喚起や健康増進への取組みの促進を行っている。 ・従業員及び家族の健康維持向上を呼び掛け、スポーツを推奨している。 ・健康診断、各種予防接種の経費補助を行っている。			3						8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・当日の年休申し出も受け入れ、子育てや介護等に専念できる制度がある。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・可能な範囲で研修等は、ウェブでの参加を促している。 ・新型コロナウイルス感染症に関連し、事業所をやむなく閉所した際にもweb上での療育面談が実施できる環境を整えている。 ・事業所内はエアコン稼働時も常に窓を開け、換気をおこなっている。			3						8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●											8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: NPO法人チャイルドサポートきくち
児童発達支援事業所 COCHIプラス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・排出ごみの削減に努め、全職員が適切な分別・処理ができている。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・各部屋に「節電ステッカー」を貼付し職員の意識付けを強化している。 【予定】1年以内にエネルギー使用量を把握する。							7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・各部屋に「節電ステッカー」を貼付し職員の意識付けを強化している。 【予定】1年以内にCO2排出量を把握する。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に努め、エコバッグなど多めに用意して活用できている。 ・療育プログラムとして、子どもたちへ「ポイ捨て」による2次被害など、分かりやすい教材・本などを利用して、考える機会を設けている。					6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・日常的で身近な廃材をもとに、自由な発想力をはぐくみ、子どもたちの創作活動をおこなっている。 ・リデュース・リユース・リサイクルの3Rを療育プログラムに取り入れることができている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事業所内の水道全箇所「節水」ステッカーの表示をおこない、職員・幼児とともに節水に取り組んでいる。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙や裏紙の利用を推進している。										9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2			6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・療育プログラムの中で植物を育てており、季節感を味わうことや成長の喜びを感じることに教育をおこなっている。												11.6 11.7		13.1 13.3	15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー利用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・療育プログラムとして、子どもたちへ「ポイ捨て」による2次被害など、分かりやすい教材・本などを利用して、考える機会を設けている。													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: NPO法人チャイルドサポートきくち 児童発達支援事業所 COCHIプラス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・送迎車両などは定期的に点検表を用いてチェックしている。 ・療育の活動内容は毎月公表し、SNSなどを通じて保護者の要望やクレームを受け付けている。 ・十分な人員を現場に配置し、質の高い療育の提供がなされている。			3.9								9				12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・社用車はすべてAT車で免許所有者であれば誰もが運転可能である。 ・施設内はほぼバリアフリーであり、車いすの児童や医療的ケア児の利用も可能にしている。											9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15						17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15							
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・障がいや性別などに関与なく、誰もが活躍できる機会が獲得できるインクルーシブな社会づくりとして幼児期の児童福祉・療育分野で貢献し、就学を視野に入れた包括的支援に努めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15						17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・児童福祉事業所として菊陽町を中心に隣接した区域を含め、未就学児には児童発達支援、児童(6~18歳)には放課後等デイサービスの通所型療育を複数の事業所で行っている。 ・障がいのある児童が安心してすごせ、発達支援や生活動作の自立を目標に個別～集団まで幅広い療育がなされ、送迎サービスの利用などで保護者も安心して就労・勤務できる環境を支援している。 ・児童の教育や支援を通して地域や日本の将来を支え、障がい者も健常者と同じように誰もが活躍できる機会や場の提供・開拓に貢献できている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・避難訓練や防災訓練など年間行事にそって実施できている。 ・看護師を常時配置しており、日頃から生命の尊さや危険防止・回避・予測等の訓練や対策を療育活動として取り入れている。				4						11.5		13.1			16							
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・事業所は「防火管理者」を含む1名以上の責任者を配置できしており、近隣の地域活動への参加や継続する職員の育成など具体的なビジョンがもてている。	1.5			3	4						10.2	11.5		13.1			16		17			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1									
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGsの推進事業者として専任者を定め、企業と事業所のつながりを深め、福祉へ支援してくれる社会的なつながりを促進している。 ・療育プログラムに「SDGs」が組み込まれており、そのものの理解を促したり、絵本の読み聞かせを通じて、考え方や異なる視点への気づきや教育をおこなっている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・小・中学生の職場体験学習、社会福祉士や教育者、看護師等の実習の受け入れなど幅広く利用できる環境が整うよう努めている。				4					8.6		10.2									17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・児童福祉分野において未経験者でもキャリアアップをめざす若者の雇用を促進し、県内での就労、および定着化が強化できる人事システムを構築できている。 ・新卒に限らず既卒者も含め、誰もがコーチング制度やメンター制度を活用し、共に働きやすい環境の維持に努め、キャリアパスにそった目標を職員が意識して勤めることができている。					4.4				8.5 8.6											17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2			4.3 4.4 4.5			8.6		10.2		12	13	14	15				17		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。